



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 エンチャー  
 コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,648	2.3	108	33.3	83	38.5	43	50.8
2019年3月期第1四半期	9,879	1.1	162	15.2	135	11.1	87	9.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 16百万円 ( 80.1%) 2019年3月期第1四半期 83百万円 ( 33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	6.32	
2019年3月期第1四半期	12.83	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	36,971	9,166	24.8	1,340.54
2019年3月期	36,623	9,218	25.2	1,348.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,166百万円 2019年3月期 9,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		10.00	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は20円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,800	1.6	380	5.6	275	2.9	170	0.9	24.86
通期	37,650	1.1	400	40.1	220	55.9	100	14.2	14.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,857,497 株	2019年3月期	6,857,497 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	19,241 株	2019年3月期	19,206 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,838,278 株	2019年3月期1Q	6,838,485 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用、所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、企業収益や設備投資においては減速傾向が見られました。また、国内における国際的イベントによる経済効果への期待が高まる一方、米中貿易摩擦の拡大や、今年10月に予定されている消費増税が及ぼす影響が懸念され、先行きは不安定な状況となっております。

ホームセンター業界におきましては、消費者の節約志向等により個人消費の伸びに力強さを欠き、また業態を超えた販売競争が激化する中、人件費や物流費の上昇もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No.1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根ざした品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入力とコスト削減意識の強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、業務の見直しなどによる働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、2019年6月、静岡県島田市にハードウェアショップ「ハードストック島田」をオープンし、同月、静岡県焼津市にアウトドアショップ「SWEN焼津店」をオープン致しました。この結果、第1四半期連結会計期間末現在における店舗数は55店舗（ホームセンター26店、ハードストック8店、ダイソー2店、ブースクエア1店、c a s a 4店、SWEN12店、c a s a & SWEN 2店）となりました。

販売につきましては、専門店事業は新店の寄与に加えて既存店も好調に推移したものの、ホームセンター事業における既存店の販売が伸び悩み、売上高は減収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,648百万円（前年同期比97.7%）となりました。利益につきましては、コスト削減に推進し販管費が昨年を下回るも、営業利益は108百万円（同66.7%）、経常利益は83百万円（同61.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43百万円（同49.2%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ347百万円増加し、36,971百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ516百万円増加し、13,596百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加32百万円、受取手形及び売掛金の増加47百万円、商品の増加379百万円、流動資産のその他の増加38百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ168百万円減少し、23,375百万円となりました。これは主に建設仮勘定の増加87百万円、投資有価証券の減少30百万円、敷金及び保証金の減少213百万円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ399百万円増加し、27,804百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,104百万円増加し、18,779百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,182百万円、短期借入金の減少196百万円、未払法人税等の減少104百万円、流動負債のその他の増加219百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ705百万円減少し、9,024百万円となりました。これは主に長期借入金の減少631百万円、退職給付に係る負債の減少33百万円、固定負債のその他の減少47百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、9,166百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少25百万円、その他有価証券評価差額金の減少21百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、24.8%（前連結会計年度末は25.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日決算短信において公表致しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,312	2,345
受取手形及び売掛金	953	1,001
商品	9,402	9,781
仕掛品	9	26
貯蔵品	22	24
その他	379	417
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,080	13,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,749	6,755
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	38	126
その他(純額)	673	701
有形固定資産合計	19,796	19,917
無形固定資産	88	88
投資その他の資産		
投資有価証券	504	473
長期貸付金	886	862
敷金及び保証金	1,733	1,519
繰延税金資産	228	219
その他	309	296
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,658	3,368
固定資産合計	23,543	23,375
資産合計	36,623	36,971
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,604	6,786
短期借入金	9,653	9,457
未払法人税等	139	34
ポイント引当金	27	31
その他	2,250	2,469
流動負債合計	17,675	18,779
固定負債		
社債	276	276
長期借入金	7,413	6,782
退職給付に係る負債	311	278
資産除去債務	470	478
その他	1,257	1,210
固定負債合計	9,730	9,024
負債合計	27,405	27,804

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,769	2,744
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,091	9,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	67
退職給付に係る調整累計額	38	33
その他の包括利益累計額合計	127	101
純資産合計	9,218	9,166
負債純資産合計	36,623	36,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,879	9,648
売上原価	7,013	6,870
売上総利益	2,865	2,777
営業収入	315	316
営業総利益	3,181	3,094
販売費及び一般管理費	3,018	2,986
営業利益	162	108
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	9	9
その他	9	3
営業外収益合計	23	17
営業外費用		
支払利息	37	33
その他	12	9
営業外費用合計	50	43
経常利益	135	83
特別損失		
減損損失	—	9
特別損失合計	—	9
税金等調整前四半期純利益	135	73
法人税、住民税及び事業税	13	9
法人税等調整額	34	20
法人税等合計	47	30
四半期純利益	87	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	87	43

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	87	43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△21
退職給付に係る調整額	△0	△5
その他の包括利益合計	△4	△26
四半期包括利益	83	16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83	16
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。